# 北海道勤労者安全衛生センター





195 2023. 6



# 2023年度総会を開催しました

5月24日(水)北海道自治労会館において、2023年度の総会を開催しました。萩原 光典理事長は、総会挨拶の中で、この間の取り組みのお礼と、昨今の安全衛生の課題につい て触れながら、改めて、安心安全な職場環境をつくるため、当センターの役割と重要性につ いて話しました。総会は、北海道労福協 紺野則仁事務局長に議長を務めていただき、全ての 議案が満場一致で可決承認されました。尚、第6号議案役員補充に関しては、新理事に北海 道労福協の高倉司さんが新任され、総会後に開催した第1回理事会において副理事長に選任 されました。

2023年度役員は、理事長 萩原光典、副理事長 和田英浩、副理事長 高倉司(新)、 専務理事 山田新吾、事務局長理事 齊藤勉、監事 高橋孝丈朗、監事 柴野一彦です。 一年間、よろしくお願いいたします。



萩原理事長

高倉新副理事長

紺野議長



# 全道セイフティネットワーク集会を開催しました



挨拶の中で具体例を話す萩原理事長 講師の吉田博さん

YouTube配信

第26回全道セイフティネットワーク集会を5月24日(水)北海道自治労会館で開催しま した。講師は、札幌学院大学非常勤講師で「公務員のカスハラ対応」の著者でもある吉田博さ ん。吉田さんからは「カスタマーハラスメントの本質と最新の状況、具体的な対応のあり方に ついて」というテーマでお話いただきました。集会は、Zoomによるオンライン配信もしたとこ ろ、会員以外の方々も多数参加され、カスタマーハラスメント問題の関心の高さを改めて認識 しました。尚、当日の内容は、YouTube配信をしています。



# ト報告書が出来ました

連合北海道にご協力いただき調査した「カスタマーハラスメントアンケート報告書」が、こ の度完成しました。報告書完成のプレスリリースをしたところ、毎日新聞と北海道新聞で記事 にしていただきました。さらに、 |Yahoo!ニュース」にもアップされて、全国から問い合わ せがありました。

5月15日(月)、連合北海道 組織労働局山田新吾局長、総合政策局小倉佳南子局長と一緒 に「カスタマーハラスメント調査報告書 | を持って、道雇用労政課に伺い、今後のカスタマー ハラスメント対応について相談しました。早速、5月17日(水)から、道のホームページに カスタマーハラスメントに関連するコーナーを作成していただきました。ありがとうございま

**自員2541人** 

立った。 7%



経力

北海道新聞5月28日朝刊

いる。 し、加盟企業・団体の組 協力を得て2022年 備が必要 カスハラ被害を経験し 査をまとめた。アンケ が道内初となる実態調 興言を吐いたりする 増剰な要求をしたり、 <del>西</del>道勤労者安全衛生セ におり、同センターは ·ター(札幌市中央区) F 調査は連合北海道の 職場での対策や法整 カスタマーハラスメ 客が従業員に対して ・回答者の約6割が て、NPO法人北 ・(カスハラ)」に 力 スハラ被害 NP に実施 に上り、推定年齢は50 たり、推定年齢は50 26 . 8%) 代 ・3%)、威嚇・脅迫 権威的(説教)態度 (15 レム 同じ内容を繰り返すク 言が41・2%を占め、 (13・0%)が続いた。 で最も多かった。 が829人(33・9%) が被害に遭ったと回 回答2448件のうち に残っている行為は疑 答。回数は「1~5回」 尋ねた質問では、 0 1446人(9:1%) カスハラをした人の 31 1 % 道 ・1%)、60代 15 7% ) と中産が目 (7 内初 田島 0 験 実態 や不快感が続いた」と ち49・3%が「嫌な思い 6 心調査 割

策がない

38 8%

事務局長は

「カスハラ

官治体にも対応を求め 援が進んでおり、

が進む

「特に対

同センターの斉藤勉

が必要

と訴えた。

は中小企業への対策支 東京都などで

遵

専門的に相談できる人

ている。

スメントを受けた後で 者の7割以上が

のリスクに敏感になっ

策を尋ねた質問では、 設置ヤマニュアル整備

回答。また、企業等の対 ちつ職場で専門部署

った。アンケート が最も多いことが分か

るだけでなく、経営者 は被害者が苦しんでい

毎日新聞5月25日朝刊

「特にされていない」



# 「第 14 次労働災害防止計画」が策定されました

「労働災害防止計画」とは、労働災害を減少させるために国が重点的に取り組む事項を定めた 中期計画です。労働安全衛生法に基づいて厚生労働大臣が定めることとされており、2023年 4 月~ 2028年 3 月までの 5 年間を計画期間とする「第 14 次労働災害防止計画」が2023年3月8 日に策定されました。今後、北海道労働局にご協力いただき、「第 14 次労働災害防止計画解 説セミナー」を開催します。

🤔 厚生労働省 北海道労働局

## 誰もが安全で健康に働くために

stated and bediting the directing and perioded and perioded and perioded and perioded and perioded and

### 計画期間

2023(R5)年度から2027(R9)年度までの5か年間

計画の目標 2027(R9)年の死亡災害及び死傷災害を

次のとおりとする

〇死亡災害 2022(R4)年と比較して10%以上減少

○死傷災害 2022(R4)年と比較して減少に転じさせる

#### 計画のねらい

北海道の労働現場における安全衛生の水準は 大幅に改善し、死亡災害は減少しているものの、 休業4日以上の死傷災害は、ここ数年増加傾向 にあります。

誰もが安全で健康に働くためには、労働者の 安全衛生対策の責務を負う事業者や注文者のほ か、労働者等の関係者が、安全衛生対策につい て自身の責任を認識し、真摯に取り組むことが 重要です。また、消費者・サービス利用者にお いても安全衛生対策費への理解が求められます。

安全衛生に取り組む事業者が社会的に評価さ れる環境を醸成し、安全と健 康の確保の更なる促進を図り ます。

第14次防詳細はこちら→



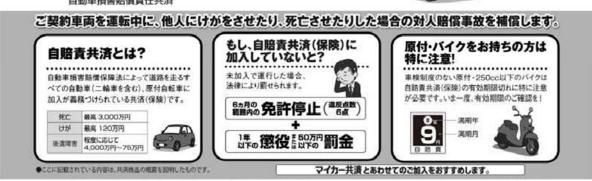
こくみん共済 coopでは

# Ζ を取り扱って

自動車損害賠償責任共済



こくみん共済 1995



こくみん共済 北海道推進本部

「こくみん共演 coco」は窓利を目的としない保障の生産として共享事業を加み、単並以助の情報にもとける。超自我の思さまの安心と ゆとりある第三した食材することを目的としています。この機能に降切いただき、出資金を担い込んで明正面または軽減水の共済主流の 材を終となることで各種共和収をに対明いただけます。



# 国立大学法人 室蘭工業大学で8年目となる寄付講座

8年目となる室蘭工業大学の寄付講座が、5月17日(水)からスタートしました。齊藤事務局長が講義する内容は、具体的な事例を交えた「ワークルール」と、「ウェルビーイング」に関して。講義の途中にマジックが入ることもあり、学生に大人気で、今年は1年生の6割を超える300名以上の学生が受講します。講義後半に質問コーナーを設けたところ、10名以上の学生からの質問が相次ぎ、一問一答でも時間オーバー。担当の清末愛砂教授からは「齊藤さんに聞いてみよう!」という回をつくりたいと言っていただきました。

# 🤷 🙋 【学生から質問の一部】

- ▶ 毎日が不安です。どうしたら、不安が解消できますか?齊藤先生は不安がありますか? あったらどのように対処していますか?
- ▶ バイトの面接に行った際、労働条件を詳しく聞かされず、今から働いてくれと言われました。これってブラックバイトですか?



